

令和4年度

社会福祉法人いわき福音協会 事業報告書

一、法人の概要

1. 名称 社会福祉法人いわき福音協会
2. 法人事務所 福島県いわき市平上平窪字羽黒40番地の44
(電話) 0246-23-1903 (FAX) 0246-23-1905
(e-mail) honbu@i-fukuin.jp (URL) http://i-fukuin.com/
3. 設立年月日 昭和25年(1950年)6月2日
4. 役員等 理事6名、監事2名、評議員7名
5. 職員 473名(男性職員125名、女性職員348名)
内訳(正職員295名、契約職員15名、パート職員163名)
(管理職25名:男13名・女12名)
(支援員・保育士等222名、医療専門職等77名、
その他149名/R5.3未現在)

二、経営する社会福祉施設

(第一種社会福祉事業)

1. 障害児入所施設(医療型)

- (1) 福島整肢療護園 : 平成24年4月1日開始
(旧肢体不自由児施設 : 昭和27年10月12日開園)
(旧重症心身障害児施設 : 平成5年4月1日開園)

2. 障害者支援施設

- (1) カナシ村 : 平成21年4月1日開始
(旧重度身体障害者授産施設 : 昭和48年4月1日開所)
- (2) 野の花ホーム : 平成21年4月1日開始
(旧身体障害者療護施設 : 平成2年4月1日開所)
- (3) はまなす荘 : 平成21年4月1日開始
(旧知的障害者更生施設 : 昭和48年4月1日開所)
- (4) はまぎく荘 : 平成21年4月1日開始
(旧知的障害者更生施設 : 昭和54年4月1日開所)

(第二種社会福祉事業)

1. 保育所 小島保育園 : 昭和26年8月13日開所
2. 放課後等児童健全育成事業 小島保育園 : 平成30年4月1日開始

3. 障害福祉サービス事業所

- | | | | | | |
|-------------------|-------------------------------------|---|-------|-----|------|
| (1) 療養介護事業所 | 福島整肢療護園 | : | 平成24年 | 4月 | 1日開始 |
| (2) 生活介護事業所 | | | | | |
| (i) 光の家 | | : | 平成18年 | 10月 | 1日開始 |
| | (旧身体障害者デイサービス事業所) | : | 平成10年 | 4月 | 1日開始 |
| (ii) ポポロ | | : | 平成23年 | 1月 | 4日開始 |
| (iii) エデンの家 | | : | 平成25年 | 4月 | 1日開始 |
| (3) 就労移行支援事業所 | つばさ(多機能) | : | 令和4年 | 4月 | 1日開始 |
| | (旧就労移行支援) | : | 平成18年 | 10月 | 1日開始 |
| (4) 就労継続支援(B型)事業所 | つばさ(多機能) | : | 令和4年 | 4月 | 1日開始 |
| | (旧就労継続B型) | : | 平成21年 | 1月 | 1日開始 |
| (5) 相談支援事業所 | タラント | : | 平成18年 | 10月 | 1日開始 |
| (6) 共同生活援助事業所 | シーズ | : | 平成18年 | 10月 | 1日開始 |
| (7) 短期入所事業所 | | : | 平成18年 | 10月 | 1日開始 |
| | カナン村、野の花ホーム、福島整肢療護園、
はまなす荘、はまぎく荘 | | | | |
| | エデンの家 | : | 平成26年 | 11月 | 1日開始 |
| | シーズ | : | 令和3年 | 9月 | 1日開始 |
| (8) 児童発達支援センター | エデンの家 | : | 平成25年 | 4月 | 1日開始 |
| (9) 放課後等デイサービス事業 | エデンの家 | : | 平成25年 | 4月 | 1日開始 |
| | 光の家 | : | 平成28年 | 4月 | 1日開始 |

(公益事業)

- | | | | | | |
|--------------------|---|---|-------|-----|------|
| 1. 障害者就業・生活支援センター | いわき障害者就業・生活支援センター | : | 平成14年 | 5月 | 7日開始 |
| 2. 日中一時支援事業(市町村事業) | | : | 平成18年 | 10月 | 1日開始 |
| | カナン村、野の花ホーム、はまなす荘、はまぎく荘
福島整肢療護園、ポポロ、エデンの家
(いわき市、双葉町、大熊町、楡葉町、広野町、富岡町、北茨城市) | | | | |
| 3. 居宅介護支援事業所 | シャローム | : | 平成19年 | 11月 | 1日開始 |

三、令和4年度の事業

法人標語

『神は苦しめるための試練は与えない』

1. 主な事業

(1) 短期計画について

①タラント及びエデンの家相談支援事業所の統合

- ・令和4年9月に統合し、相談支援専門員4名体制による、児童から大人までの総合相談支援体制の充実、及び機能強化型サービス利用支援の最上位加算の取得による事業所運営の安定を図った。

②生活介護事業所ポポロの従たる事業所建築

- ・みそのホーム跡地利用として、生活介護事業所ポポロの従たる事業所（定員5名）建築計画は、国による最終審査において不採択となり、再申請について協議検討した結果、利用ニーズの変化や建築資材費の高騰から、従たる事業所建築計画は断念した。なお、跡地については、ポポロの職員等駐車場として活用する。

(2) 新型コロナウイルス感染症等の対策

- ・法人及び各事業所において、感染症対策マニュアルの確認、日々の体温チェック、事業所内の消毒、面会の制限等、新型コロナウイルス感染症対策の徹底をしたが、入所施設（3カ所）において感染クラスターが発生した。法人としては、事業継続計画（BCP）を発動し、入所施設1カ所に対して通所事業所（2カ所）から5名の職員をその施設に派遣するなど利用者の支援体制を構築した。なお、BCPの発動に伴い、短期間ではあったが、職員を派遣した通所事業所の内、1カ所の事業所の一部事業を停止した。

①新型コロナウイルス感染症に対する関連補助金

- ・事業内容：新型コロナウイルス感染症対策を徹底するための支援。
- ・法人総申請額：7,749,000円

②新型コロナウイルス感染症小学校休業等対応助成金

- ・事業内容：新型コロナウイルスの感染拡大防止策として、小学校等が臨時休業した場合等に、その小学校等に通う子の保護者である労働者の休職に伴う所得の減少に対応するため、正規雇用・非正規雇用を問わず、有給の休暇（年次有給休暇を除く）を取得させた企業に対する助成金。
- ・法人総申請額：1,822,142円

(3) 地域貢献活動と交流事業への取り組み

（社会福祉法人による地域における公益的な取り組み）

①生活困窮者等向け「ふれあいサロン」於：障がい者支援センターアシェル

- ・毎月第3土曜日（10時～15時）に定期開催予定のふれあいサロンは、新型コロナウイルス感染症の影響により、4月及び12月の開催は見合わせることにしたが、それ以外の月は、感染対策を徹底し開催することが出来た。なお、ふれあいサロンには、7名が登録し延べ42名（新規登録者1名含む）の方が参加し、花壇作り

やボードゲーム等にて交流を深めた。今後も地区保健福祉センターや就業・生活支援センター、地域の民生委員と連携を図り、地域の隠れた福祉ニーズの把握に努め、ふれあいサロンに繋げていく。

②福祉体験ツアー

③ポポロふれあい交流会

④あじさい会会食会

- ・上記3事業(②～④)は、令和3年度に引続き新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。

(4) 短期・中長期計画の進行管理及び一部変更

- ・計画の進行管理は、経営会議及び施設長会等にて進捗確認するとともに、変化する地域ニーズへの対応や、更なる法人運営の安定化を図ることを目的に、福島整肢療護園の中長期事業計画を令和5年1月に、法人短期・中長期計画を令和5年3月に一部計画の見直しをした。

【法人短期計画の主な変更点】

- ①短期・中期・長期計画の構成の明確化
- ②アクションプラン2025に対応した経営原則及び基本姿勢
- ③堂ノ前センターの事業再編
- ④入所施設等の在り方検討
- ⑤短期入所・児童発達支援センター・放課後等デイサービス事業の充実

【福島整肢療護園中長期事業計画の主な変更点】

- ①病棟体制強化のための各検討会等の設置
 - ②医療職(医師、看護師、セラピスト)の積極的な確保
 - ③長期入院(入所)の最低目標値の変更(45→47)
 - ④リハビリテーション部セラピストの1日の稼働目標の設定
 - ⑤建替準備会及びカルテ等の電子化のためのデジタル準備会の設置
- ・アクションプラン2025の評価については、「人権の尊重」及び「サービスの質の向上」を中心に全事業所において自己評価を行い、その評価をもとに法人及び各事業所の事業計画等に繋げることが出来た。

(5) 人材育成(研修等)

①安心安全な福祉サービス提供のための職員の資質向上への取り組みについて

- ・職員採用は、職員採用活動方法検討会を設置し、市内外の福祉、医療系学校への訪問活動(延べ34回)を行い、令和6年度の新卒採用に向けての準備を進めた。なお、求人広告ガイドポスト、ハローワークインターネットサービス、Airワーク等の活用により、令和4年度は、9名の職員採用に繋がった。
- ・職員定着は、全事業所による人事考課の実施、法人人事係による入職1年目の職員に対する面談、事業部による中堅職員等の面談を実施したが、定着率の向上(前年比0.7%減)に繋げることが出来なかったため、引き続き面談等を実施し、働き

やすい職場環境を目指すこととする。

- ・職員育成は、研修委員会が中心となり、通年で開催する新採用職員研修会や中堅職員研修会(主に入職10年程度)、更には法人職員を対象とした虐待防止や権利擁護、アンガーマネジメント、人事考課など多様な研修を取り入れ、利用者支援の専門性と併せて、法人職員としての総合力の向上を図った。

②利用者の権利擁護の視点からの取り組みについて

- ・毎月、施設長会終了後に権利擁護委員会(委員は全所長及び法人事務局)を開催し、虐待事案の検証、困難ケースの検討、障害者権利条約の内容確認等を行い、所長が先頭となり全職員が支援の基本である本人中心支援や意思決定支援の重要性について理解を深めることに努めた。
- ・定期的に苦情解決部会(年4回を予定していたが新型コロナウイルス感染症の影響により3回の開催)を開催し、苦情内容の検証や改善策の検討を行った。
- ・全事業所において実施してきた虐待防止チェックシートは、利用者の権利を尊重した支援の充実強化を図るため、名称(ふりかえりチェックシート)と内容を変更し、チェック内容を虐待防止部会にて検証して、各事業所にフィードバックを行い利用者支援に繋げた。

③各分野の専門スタッフの育成

- ・それぞれの専門分野にてe-ラーニング制度の活用、及び積極的な外部・内部研修を受講し、看護、介護、支援、相談援助等の知識と技術の向上を図った。

④『聖書を通して福祉を学ぶ会』の実施について

- ・法人理念の更なる理解のために、いわき市内各教会牧師先生の協力を得て、3ヵ月毎に定例の会を実施(法人礼拝堂「友愛記念館」)予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度に引続き開催を中止とした。

(6) 各委員会等の充実強化

①看護師連絡会の設置

- ・多様な看護業務の変化に対応するために設置した看護師連絡会は、法人内施設見学、e-ラーニングによる感染症の勉強会、新型コロナウイルス感染症の対応訓練や意見交換を実施しながら、看護師のスキルアップを図った。

②みらい推進会の設置

- ・若手職員6名を中心に、法人の事業活動や財務状況等の勉強会を開催し、スキルアップに努めるとともに、新しいイベント(法人のお祭り)などの企画を検討した。次年度も引き続き、新しい活動内容等の検討を行い、適宜、施設長会等への提案を行う。

③職員採用活動方法検討会

- ・令和6年度の新卒職員の採用のため、検討会の委員を中心に市内外はもとより、県外の福祉、医療系の大学等への学校訪問活動を行った。次年度も引き続き、訪問活動を継続し、学校のキャリアセンター等との関係性の構築に努める。

④全体会(活動報告会)の開催

- ・令和4年度の各委員会等の活動内容、課題、他の委員会等への提案等をまとめ、その内容を各委員会等の代表者が活動報告会において発表し、共有を図った。

(7) 友愛記念館(チャペル)の改修

- ・法人のシンボルの一つである友愛記念館の内外壁改修工事を、令和4年9月から着工、令和5年3月に完了し、同年3月23日に設計業者や施工業者、更には教会関係者や法人役職員など多くの参列者により、盛大に竣工式を開催することが出来た。

2. 主な受託事業

(1) 発達障害者就労・生活支援機能強化事業(いわき市より受託)

目的：療育手帳又は精神障がい者保健福祉手帳を有しない発達障がい又は発達障がいの疑いのある方への相談に対応するために、専任の職員を配置し必要な情報や助言その他の障がい福祉サービスの利用の支援を行う。

受託施設：いわき障害者就業・生活支援センター

(2) 精神障がい者向け訓練実施支援事業(福島県より受託)

目的：精神障がい者の就労支援の一環として実施する事業で、訓練計画の作成から訓練受託企業の開拓等を関係機関・コーディネーター・ジョブコーチと連携しながら進める。

受託施設：いわき障害者就業・生活支援センター

(3) 超短時間雇用創出事業(いわき市より受託)

目的：超短時間雇用モデルについて、いわき市や東京大学先端科学技術研究センターと連携し、短時間で働けることが出来る対象者に対して、就労先となる企業とのマッチングを行い、地域社会で活躍出来るよう支援する。

受託施設：いわき障害者就業・生活支援センター

(4) 障害児(者)地域療育支援事業(いわき市より受託)

目的：在宅心身障がい児者に対して、ライフステージに応じた支援をするために、巡回相談、訪問健康診断等により療育機能の充実を図り、障がい児者及びその家族の福祉の向上を目的とする。

受託施設：福島整肢療護園

(5) いわき市児童発達支援センター地域支援機能強化事業(いわき市より受託)

目的：在宅障がい児者及びその家族に対して、療育相談や他の障害児通所支援事業所への支援方法の技術的指導、在宅障がい児が気軽に利用出来る場所の提供等を行い地域の親同士の交流などの地域支援を目的とする。

受託施設：エデンの家

(6) 就労準備支援事業(いわき市より受託)

目 的： 生活困窮者及び生活保護者を対象に、一般就労に向けた準備として、ビジネスマナーや屋内外作業・面談等を実施し、日常生活・社会生活・就労の自立を目指す。

受託施設： つばさ(就労移行)

3. 施設整備関係

○自己資金による事業

- (1) 事業名： 砂場設置工事
実施施設： 小島保育園
事業費： 1,199,000円
事業完了： 令和4年12月 7日
- (2) 事業名： 非常階段部扉設置工事
実施施設： 小島保育園
事業費： 1,155,000円
事業完了： 令和4年12月 7日
- (3) 事業名： 診断用X線装置一式購入
実施施設： 福島整肢療護園
事業費： 6,820,000円
事業完了： 令和5年 1月 3日
- (4) 事業名： 画像読取装置一式購入
実施施設： 福島整肢療護園
事業費： 8,580,000円
事業完了： 令和5年 3月12日
- (5) 事業名： 昇降式介護浴槽一式購入
実施施設： 福島整肢療護園
事業費： 7,348,000円
事業完了： 令和5年 2月15日
- (6) 事業名： 浄化槽埋設污水管修繕
実施施設： 福島整肢療護園
事業費： 1,210,000円
事業完了： 令和5年 3月27日
- (7) 事業名： 給湯設備改修工事
実施施設： 福島整肢療護園
事業費： 4,769,600円
事業完了： 令和5年 3月31日
- (8) 事業名： 屋上防水張替工事(女子棟他)
実施施設： カナン村

- 事業費： 5,885,000円
事業完了： 令和4年11月17日
(9) 事業名： 自動火災報知設備更新
実施施設： 野の花ホーム
事業費： 3,993,000円
事業完了： 令和4年10月31日
(10) 事業名： 大型洗濯機更新
実施施設： はまなす荘
事業費： 1,925,000円
事業完了： 令和5年 2月 7日
(11) 事業名： 高架水槽撤去に伴う施設内給水設備改修工事
実施施設： はまぎく荘
事業費： 4,400,000円
事業完了： 令和4年11月25日
(12) 事業名： 女子棟居室改修工事
実施施設： はまぎく荘
事業費： 3,982,000円
事業完了： 令和4年 9月 6日
(13) 事業名： 男子棟居室改修工事
実施施設： はまぎく荘
事業費： 3,608,000円
事業完了： 令和4年 9月16日
(14) 事業名： 作業棟プレハブ改修工事
実施施設： はまぎく荘
事業費： 10,670,000円
事業完了： 令和4年 8月29日
※みはま後援会からの寄附10,000,000円
(15) 事業名： 浄化槽ろ材復旧工事
実施施設： はまぎく荘
事業費： 1,078,330円
事業完了： 令和4年 7月11日
(16) 事業名： アシエル1F改修工事
実施施設： つばさ(多機能)
事業費： 1,000,000円
事業完了： 令和4年 5月26日
(17) 事業名： 空調設備改修工事(IV期)
実施施設： 光の家
事業費： 6,765,000円
事業完了： 令和4年 6月30日

- (18) 事業名： 友愛記念館（チャペル）改修工事
実施施設： 法人本部
事業費： 29,590,000円
事業完了： 令和5年 3月20日
- (19) 事業名： 友愛記念館（チャペル）改修工事設計監理料
実施施設： 法人本部
事業費： 1,969,000円
事業完了： 令和5年 3月20日
- (20) 事業名： みはま体育館外壁改修工事
実施施設： はまぎく荘
事業費： 15,840,000円
事業完了： 令和4年 9月26日

4. 理事会、評議員会開催状況

(1) 理事会

期 日： 令和4年 6月10日

協議事項： 令和3年度事業報告書並びに収入支出決算書について
令和3年度決算報告及び監査報告について
諸規程の一部改正について
定時評議員会の招集事項について
会計監査人の選任について
役員賠償責任保険の契約について

出席者： 理事6名中6名出席

(2) 定時評議員会

期 日： 令和4年6月28日

協議事項： 令和3年度事業報告書並びに収入支出決算書について
令和3年度決算報告及び監査報告について
会計監査人の選任について

出席者： 評議員7名中7名出席

(3) 理事会

期 日： 令和4年 9月16日

報告事項： 理事長の職務執行状況について
協議事項： 令和4年度収支補正予算書について
ポポロの従たる事業所建設に係る補助事業申請について
礼拝堂改修工事について
諸規程の一部改正について
評議員会の招集事項について

出席者： 理事6名中5名出席

- (4) 評議員会
期 日： 令和4年 9月29日
協議事項： 令和4年度収支補正予算書について
出席者： 評議員7名中6名出席
- (5) 理事会
期 日： 令和5年 1月19日
協議事項： 令和4年度収支補正予算書について
諸規程の一部改正について
つばさの多機能化に係る計画見直しについて
福島整肢療護園の中長期計画見直しについて
補助事業の申請について
評議員会の招集事項について
人事について
出席者： 理事6名中6名出席
- (6) 評議員会
期 日： 令和5年 1月31日
協議事項： 令和4年度収支補正予算書について
出席者： 評議員7名中6名出席
- (7) 理事会
期 日： 令和5年 3月16日
報告事項： 理事長の職務執行状況について
協議事項： 令和4年度収支補正予算書について
令和5年度事業計画書（案）について
令和5年度収支予算書（案）について
諸規程の一部改正について
法人短期・中長期計画見直しについて
補助事業の申請について
評議員会の招集事項について
人事について
出席者： 理事6名中6名出席
- (8) 評議員会
期 日： 令和5年 3月27日
協議事項： 令和4年度収支補正予算書について
令和5年度事業計画書（案）について
令和5年度収支予算書（案）について
出席者： 評議員7名中5名出席

*理事会・評議員会の提出議案は、すべて原案通り承認を得た。

5. 令和4年度の主な行事

4	1 12 27	辞令交付式 かがやき拠点が、つばさ（多機能型）拠点として事業を開始する 公認会計士期末監査 苦情解決部会
5	1 6 12 20 23 30	公認会計士期末監査（～2日） 内部経理監査（～11日） 監事監査（～13日、16～17日） 故大河内一郎先生追悼祈念会（シオンの丘） 公認会計士期末監査（～24日） 公認会計士監査報告 監事監査報告
6	2 10 22 28 30	法人設立記念日、役職員表彰式 理事会 障害者雇用納付金等に関する訪問調査 （（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構） 定時評議員会 福島労働局監査（いわき障害者就業・生活支援センター）
7	1 21 25	辞令交付式（異動主事1名） いわき市 社会福祉法及び障害者の日常生活及び社会生活を総合的に 支援するための法律に基づく監査（シーズ・～22日） はまぎく荘・クラスター発生（～8月8日） 事業継続計画（BCP）発動（～8月12日）
8	1 31	辞令交付式（異動看護師1名） エデンの家の相談支援事業を廃止して、9月よりタラントに統合する 公認会計士期中監査（～1日）
9	1 16 29	辞令交付式（異動支援員1名・異動相談支援専門員1名） 公認会計士理事者ディスカッション（理事長・監事他） タラントの相談支援事業を4名体制とする 理事会 評議員会
10	1 9 17 24	小島保育園運動会（平体育館） 野の花ホーム・クラスター発生（～10月20日） 市内牧師交流会（エリコ/理事長・事務局長） 苦情解決部会
11	7 9 11 16 28	法人施設・事業所事業計画ヒアリング開始 いわき市総合社会福祉大会（アリオス） 福島県社会福祉大会（二本松市） 平窪3区長との懇談会（理事長・事務局長・総務課長・事業課長・シーズ ポポロ・はまぎく荘・はまなす荘の各所長） はまなす荘・クラスター発生（～12月18日）
12	10 13 19	いわき市民クリスマス（パレスいわや） 公認会計士期中監査（～14日） 全国社会福祉大会（東京）参加なし クレハ労働組合より寄附金贈呈式 （勿来支所/カナン村・はまなす荘・はまぎく荘）
1	4 16	法人新年の集い（エリコ） 福島県指導監査（エデンの家） 福島県指導監査（福島整肢療護園）

	19 26 31	理事会 苦情解決部会 評議員会
2	6 8 13 28	正職員登用試験(筆記) 正職員登用試験(面接) 社会福祉法人会計実務者決算講座(エリコ/Web 研修) いわき障害者就業・生活支援センター運営連絡会
3	1 10 16 23 27 29 30 31	辞令交付式(異動看護師1名) 新採用職員オリエンテーション 理事会(終了後、退職施設長等感謝状授与式) 友愛記念館(チャペル)改修工事竣工式 評議員会 管理者事務引継ぎ(つばさ・居宅シャローム) 公認会計士期中監査(~31日) 公認会計士決算前ディスカッション(理事長・監事他) 退職辞令交付式

6. 法人職員研修会(法人研修委員会等主催)

- (1) 新採用職員研修会「社会福祉法人とは 法人の歴史」「法令遵守について」
「いわき福音協会の事業と現状について」
「障がいのある方への支援」「接遇マナーについて」
「法人事業所紹介動画」

開催日：令和4年 4月5日(火)～7日(木)

講師：理事長 藁谷健一、事務局長 海野淳、事業部課長 草野淳、
ポポロ 所長 金野小百合、はまぎく荘 支援係長 川井敦史

会場：障がい児者支援センターエリコ

出席者：13名

- (2) 第1回定例新採用職員研修会(感染症と感染予防対策)

開催日：令和4年 5月20日(金)

講師：福島整肢療護園 医師 渡邊信雄

会場：障がい児者支援センターエリコ

出席者：12名

- (3) 第2回定例新採用職員研修会(権利擁護について)

開催日：令和4年 6月17日(金)

講師：タラント 所長 山内政彦

会場：障がい児者支援センターエリコ

出席者：13名

- (4) 第3回定例新採用職員研修会(法人将来ビジョンについて)

開催日：令和4年 7月15日(金)

講師：事業部課長 草野淳

会場：障がい児者支援センターエリコ

出席者：13名

- (5) 第4回定例新採用職員研修会（利用者支援について）
開催日：令和4年 8月19日(金)
講師：法人コアサビ管委員会
会場：障がい児者支援センターエリコ
出席者：11名
- (6) 第5回定例新採用職員研修会（障がいの理解・知的障害について）
開催日：令和4年 9月16日(金)
講師：ポポロ 所長 金野小百合
会場：障がい児者支援センターエリコ
出席者：11名
- (7) 第6回定例新採用職員研修会（介護について）
開催日：令和4年10月21日(金)
講師：野の花ホーム 副主任支援員 木村祐太
会場：障がい児者支援センターエリコ
出席者：13名
- (8) 第7回定例新採用職員研修会（リスクマネジメント）
開催日：令和4年11月18日(金)
講師：福島整肢療護園 主任生活支援員 石本達哉
会場：障がい児者支援センターエリコ
出席者：9名
- (9) 第8回定例新採用職員研修会（栄養について）（法人映画鑑賞）
開催日：令和5年 2月17日(金)
講師：野の花ホーム 栄養係長 藁谷明美
福島整肢療護園 主任管理栄養士 岩見裕子
会場：障がい児者支援センターエリコ
出席者：11名
- (10) 法人職員研修会（人事考課（考課経験者、新任考課者）について）
開催日：令和4年 8月 8日(月)、9日(火)
講師：日本経営グループ 株式会社ミライバ
会場：障がい児者支援センターエリコ
出席者：16名（8/8）、28名（8/9午前）19名（8/9午後）計63名
- (11) 法人職員研修会（意思決定支援 ～権利擁護の視点から～）
開催日：令和4年 9月13日(金)
講師：いわき基幹相談支援センター 浄土洋輔氏
会場：障がい児者支援センターエリコ
出席者：28名
- (12) 法人職員研修会（土砂災害から身を守るために）
開催日：令和4年10月25日(火)
講師：いわき市災害対策課 古橋航太氏、柴田聡氏
会場：障がい児者支援センターエリコ

出席者：21名

- (13) 法人職員研修会（感染症について）

開催日：令和4年11月11日（金）

講師：福島整肢療護園 医師 渡邊信雄

会場：障がい児者支援センターエリコ

出席者：22名

- (14) 法人職員研修会（苦情解決と権利擁護 ～苦情解決の役割と施設支援～）

開催日：令和5年1月24日（火）

講師：東北福祉大学 総合福祉学部 准教授 竹之内章代氏

会場：障がい児者支援センターエリコ

出席者：29名

- (15) 法人職員研修会（不審者対応訓練について）

開催日：令和5年1月25日（水）

講師：平駐在所 署員 鈴木静香氏、好間駐在員 署員 熊野堅太氏

会場：障がい児者支援センターエリコ

出席者：20名

- (16) 法人職員研修会（アンガーマネジメントについて）

開催日：令和5年2月14日（火）

講師：株式会社NCRD 代表取締役 鈴木佳代子氏

会場：障がい児者支援センターエリコ

出席者：26名

- (17) 第1回中堅職員研修会（意思決定支援と合理的配慮を学ぶ-1）

開催日：令和4年6月3日（金）

講師：社会福祉法人育成会 理事 古川敬氏

会場：障がい児者支援センターエリコ

出席者：22名

- (18) 第2回中堅職員研修会（意思決定支援と合理的配慮を学ぶ-2）

開催日：令和4年7月1日（金）

講師：社会福祉法人育成会 理事 古川敬氏

会場：障がい児者支援センターエリコ

出席者：22名

- (19) 第3回中堅職員研修会（管理者としての役割）

開催日：令和4年9月2日（金）

講師：マルチグループ 管理本部 常務取締役本部長 石山伯夫氏

会場：障がい児者支援センターエリコ

出席者：16名

- (20) 第4回中堅職員研修会（法人の歴史を振り返る）

（社会福祉保障制度 措置から契約へ）

開催日：令和4年10月7日（金）

講師：理事 岡部明氏、理事 新妻登氏

会 場：障がい児者支援センターエリコ

出席者：21名

(21) 第5回中堅職員研修会（報酬と福祉サービスの仕組み）（決算書の見方）

開催日：令和4年11月 4日（金）

講 師：ポポロ 支援係長 岡本正志 法人本部事務局長 海野淳

会 場：障がい児者支援センターエリコ

出席者：20名

(22) 第6回中堅職員研修会（リスクマネジメント）

開催日：令和5年 2月 3日（金）

講 師：法人本部事務局長 海野淳

会 場：障がい児者支援センターエリコ

出席者：17名

*令和4年度は、新型コロナウイルス感染症等により、日程等の変更はあったが、概ね計画通り開催することが出来た。

7. 連絡会・委員会活動報告

(1) 施設運営連絡会

理事長のもと各施設・事業所の施設長等が月初めに集まり、行事予定や法人全体・施設間の連絡調整及び運営について協議を行った。

(2) 施設長会

理事長のもと各施設長が月1回集まり、運営や重要事項等について協議を行った。

(3) 経営会議

理事長のもとに事務局長（総務部長兼務）、総務課長、事業部課長が月1回集まり、法人の業務執行上における重要事項等（短期・中長期計画や新型コロナウイルス感染症対策等）について機動的・多面的に協議を行った。

(4) B C P 運用（B C M）委員会

新型コロナウイルス感染症発生時事業継続マニュアルの確認と実践に沿った事業継続計画の見直し及び内容修正を行った。また、7月に入所施設で発生したクラスターでは、初めてB C Pが発動され、施設間連携対応から事業継続の課題を得た。

(5) 危機管理委員会

新型コロナウイルス感染症について、事業所間の情報交換と調査を実施し、業務従事の可否、及び他事業所への業務応援可能な職員名簿を作成した。

10月には、いわき市の出前講座、『土砂災害から身を守るために』を受講し、1月には、いわき中央警察署の協力による『不審者対応訓練』を実施した。

*勤務継続可能職員 (304名/83%) (前年度 290名/73%)

*他事業所への業務応援可能職員 (181名/50%) (前年度 156名/40%)

(6) 広報委員会

法人広報「いわき福音」の41号、42号を発行。42号発行は令和5年度にずれ込んだ。ホームページは2月にトップページに写っている職員写真の変更を行った。随時ホームページのニュース欄を更新した。

(7) 研修委員会

- ・新採用職員研修会 4月5日から7日の午前中、13名出席。
- ・定例研修会 5月から2月実施。
コロナ禍のため12月、1月中止。9回開催13名中平均11.8名出席。
- ・中堅職員研修会 6月から2月実施。
コロナ禍のため8月、12月、1月中止。6回開催26名中平均19.7名出席。

(8) 地域貢献委員会

令和4年度も福祉体験ツアーや出前講座、あじさい会会食会の開催については新型コロナウイルス感染症の情勢を鑑み見合わせる事となった。ふれあいサロンは感染対策を徹底し年間10回、ごみ拾い活動は3回、草刈は1回実施することが出来た。

(9) コアサビ管委員会

療護園研修（1回）、サービス管理責任者等情報交換会（4回）、新人研修、委員会メンバーから県ファシリテーターに3名派遣を実施した。新型コロナウイルス感染症の為、委員会や研修の延期や中止があり、参加者も少ない状況がみられた。

(10) 人事考課委員会

本格的な運用の3年目となり、考課シート等の内容及び期間については、前年度と同じ内容で行った。12月の賞与反映は203名考課中、105%対象者は57名（前年比5.4%増）の結果となった。

(11) 栄養士連絡会

5～7月調理業務従事者施設厨房見学会（福島整肢療護園・野の花ホーム・カナン村にて）実施し、法人内全調理業務従事者が参加した。10～11月の調理業務従事者施設実習では、福島整肢療護園・野の花ホームからそれぞれ1名が1週間ずつの体験実習を行い、技術を学ぶとともに交流を深めた。

(12) 入所系事業所連絡会

中心議題として、福島整肢療護園の建替えについて検討し、野の花ホームの複合型施設としての建替えの提案を行う。その他、地域生活移行促進の為にグループホーム体験事業の創設や人材登用・育成についても各事業所で共通の課題となっており、インターネット媒体への求人掲載等提案した。

(13) 生活介護事業所連絡会

各生活介護事業所の活動内容や新型コロナウイルス感染症による影響等の情報共有や、事例検討を行い、意見交換や事業所間の連携の在り方について話し合いをした。また「施設間現場体験」を企画し、4名の職員が他事業所の現場体験を実施した。

(14) 会計職員連絡会

本部及び各施設会計担当職員が月1回集まり、各種連絡や実務的な業務について協議を行った。

(15) 看護師連絡会

各事業所の見学を通して、看護業務の内容確認や医療に関する情報交換を実施するとともに、新型コロナウイルス感染症陽性者対応時の、個人防護具(PPE)の着脱方法や、e-ラーニングを活用した、各種感染予防対策の勉強会等も実施した。

(16) みらい推進会

みらい推進会内規に基づき発足し、各事業所より選出された6名により会員が構成された。令和4年度は、会発足の12月から3月まで毎月1回ずつ会議を実施し、法人の現状の把握と次年度の取り組み内容を中心に会議を実施した。

(17) 職員採用活動方法検討会

令和4年7月に会が発足し、17の学校訪問を年度内に2回実施した他、学内企業説明会の実施、職員紹介制度の導入、各種インターネットサービスの導入、紙媒体による求人広告利用等を進めた。

* 権利擁護委員会、及び苦情解決部会、虐待防止部会、成年後見部会については別掲。

8. 表彰関係

(1) 法人役職員表彰 (令和4年6月2日 エリコ)

* 永年勤続表彰 (施設職員6名)

川崎香代子、鈴木郁子 (福島整肢療護園)、安田七奈 (野の花)

鈴木直子、白石るり子 (シーズ)、高橋昌之 (本部)

(2) 栄養関係功労者厚生労働大臣表彰 (令和4年8月29日 いわき市保健所)

* 栄養指導業務功労者表彰

藁谷明美 (野の花)

(3) 第48回いわき市総合社会福祉大会 (令和4年11月9日 アリオス)

新型コロナウイルス感染拡大に考慮して、規模を縮小して開催

* 大会会長表彰 (27名)

小池加澄、今田美紀 (小島保育園)、四家さゆり、伊藤桂子、桑原佐和、野口志穂、西山てるの (療護園)、白石真人、柳田麻里奈、國井健一 (カナン) 須藤由美、佐野順子 (野の花)、菊地貴史 (はまなす)、高木早苗 (はまぎく) 會田伸枝、根本由紀子 (光の家)、小室スミ、吉田令子、薄葉聖、臼庭正一、牧野弘美、安藤晴美、(シーズ)、大谷英之 (つばさ)、松本結記 (就業・生活) 菊地美紀子 (タラント)、鈴木さつき (ポポロ)、鈴木里美 (エデン)

(4) 第76回福島県社会福祉大会 (令和4年11月11日 二本松市)

新型コロナウイルス感染拡大に考慮して、規模を縮小して開催

* 知事感謝状 (2名)

中井昭一 (はまぎく)、吉田孔大 (居宅)

* 大会会長表彰 (12名)

藤井真理 (小島保育園)、飯島清治 (シーズ)、菊地由紀子、松本吉央、鳴原陽子 (カナン)、阿部千代子、坂本大介 (はまなす)、東田美恵子、

佐藤久美（シーズ）、阿部ひとみ、藁谷尚子（つばさ）
御代真子（エデン）

(5) 令和4年度全国社会福祉大会（令和4年12月13日 東京都）
新型コロナウイルス感染拡大に考慮して、規模を縮小して開催

* 大会会長表彰（4名）

宮崎昭子、田中伸一（療護園）、角田純子（光の家）、吉田孔大（居宅）

(6) 令和4年度交通事故防止コンクール（令和4年12月20日）

* 地区表彰（当法人）

以 上